

令和 3 年度
(第 10 期)
事業計画書

令和 3 年 4 月 1 日
令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 林レオロジー記念財団

公益財団法人 林レオロジー記念財団
令和 3 年度(第 10 期)事業計画書

本財団は、わが国の食料品製造機械産業における研究開発を支援するための助成事業、人材育成事業等を行い、日本の食品産業の育成に寄与すること、並びに各国、地域独自の食文化の発展・再興・普及の促進に寄与することを目的とした活動を行う。

【公益目的事業費】

1 奨学金給付事業

本事業は財団の目的を理解し、食品産業の学術研究において将来の発展が期待できる大学院生、大学生、専門学校生を対象に奨学金給付事業を行う。

令和 3 年度の応募者総数〔令和 3 年度給付予定〕は 179 名で、大学院生が 132 名(内訳：2 年生 42 名，1 年生 90 名)，大学生が 45 名(内訳：4 年生 26 名，3 年生 19 名)，専門学校生が 2 名であった。「奨学生選考規定」に基づき 35 名の奨学生を決定したが、後に 1 名の辞退者が出た為 34 名に奨学金給付を実行する。

なお、昨年度からの継続奨学生 35 名の 2 年目の学生にも奨学金を給付する。

No.	予算の内容	予算額 (千円)	令和 3 年度 給付分 (千円)
(1)	大学院 2 年生:月額5万円を1年間, 8名に給付する。	4,800	4,800
(2)	大学院1年生:月額5万円を 2 年間, 17 名に給付する。	20,400	10,200
(3)	大学4年生:月額3万円を1年間, 4 名に給付する。	1,440	1,440
(4)	大学3年生:月額3万円を 2 年間,3 名に給付する。	2,160	1,080
(5)	専門学校生:月額 3 万円を1年間, 2 名に支給する。	720	720
令和3年度採用奨学生の奨学金給付予算小計		29,520	18,240
(6)	大学院 2 年生:月額5万円を令和 2 年度からの継続奨学生 32 名に1年間給付する。	19,200	19,200
(7)	大学4年生:月額3万円を令和 2 年度からの継続奨学生 3名に1年間給付する。	1,080	1,080
令和元 2 年度採用奨学生 2 年目奨学金給付予算小計		20,280	20,280
奨学金給付予算合計		49,800	38,520
(8)	その他公益目的事業に必要な費用	8,105	8,105
公益目的事業費 合計		64,865	46,625

※令和 3 年度に新規に採用する奨学生は 34 名，令和 2 年度からの継続採用奨学生は 35 名で，合計 69 名の奨学生に奨学金を給付する。

本事業の予算総額は、期末配当金の予想額〔令和3年6月末受領予定〕及び中間配当金〔令和3年12月末受領予定〕の予想額、並びに特定費用準備資金取崩額を勘案し事業計画を立案した。

2 令和3年度の特定期費用準備資金の取崩し額

奨学金給付事業に関する特定費用準備資金の取崩し額は、奨学給付金積立資金(2015年度-2022年度)から7,650千円を取崩し奨学金として給付する。

令和3年3月末日付で、「令和2年度 奨学給付金積立資金(2年目給付)」として積立てた20,280千円を全額取崩し、奨学金として給付する。

取崩し額合計は、27,930千円とする。

3 令和3年度の特定期費用準備資金の積立額

奨学金給付事業が継続的かつ、円滑に維持運用ができるように、令和3年度から令和4年度までの2年間給付奨学生の令和4年度の2年目給付分奨学金11,280千円を令和4年3月末日付で、「令和4年度 奨学給付金積立資金(2年目給付)」として積立を行い、別途安定化運用資金として9,000千円を積立し、合計20,280千円を積立る。